

「リンククロス コインズ」 損保ジャパン日本興亜ひまわり生命 先進医療と臓器移植を受けた場合の治療費を補償する保険。先進医療による療養を受けた場合、最大2000万円が支払われる。所定の臓器移植術を受けた場合は1000万円。 保険料：月々500円/保険期間：1年/契約年齢：20～69歳
「がん治療のための免疫保険」 医師が考えた少額短期保険 がん免疫細胞療法の治療費を補償する保険。がんと診断されたら100万円、がん免疫細胞療法を受けたら60万円。 保険料：月々390円から（ネット申し込みの場合）。年齢・性別によって変動 保険期間：1年（84歳まで自動更新） 契約年齢：20～74歳
「患者申出療養サポート」 アクサ生命 患者申出療養を受けた場合の治療費を補償する保険。患者申出療養として実施された療法を受けた場合、その技術料と同額の給付金（1回の療養につき1000万円まで、通算2000万円まで）が支払われる。 保険料：月々400円/保険期間：5年/契約年齢：0～80歳
「痴漢冤罪ヘルプコール付 弁護士費用保険」 ジャパン少額短期保険 痴漢と間違われたとき、弁護士にヘルプコールができる保険。痴漢冤罪事件に巻き込まれた際、弁護士費用として最大300万円が支払われる。 保険料：月々590円/保険期間：1年/契約年齢：年齢制限なし
「モンベル野あそび保険」 モンベル 国内旅行でのケガや入院費を補償する保険。死亡した場合は最大506万5000円、入院した場合1日あたり最大7500円が支払われる。 保険料：250円から/保険期間：1泊2日、3泊4日、6泊7日の3タイプ 被保険者：0～89歳
「1DAY レジャー保険」 三井住友海上火災保険 レジャー・スポーツ中の自身のケガ、他人にケガをさせた場合の損害を補償する保険。ハイキング・軽登山向けやスキー・スノボ向けとレジャーに応じたプランが用意されている。ハイキング・軽登山向けの場合、死亡すると200万円が支払われる。 保険料：500円から/保険期間：24時間単位 被保険者の年齢：始期日時点における年齢が満69歳以下の方
「死亡保険」 SBI いきいき少額短期保険 死亡すると死亡保険金が支払われる保険。死亡した場合、契約したコースに応じて100万～600万円が支払われる。 保険料：月々490円から（年齢・性別・コースによって変動） 保険期間：1年（1年ごとに89歳まで更新可能） 契約年齢：20～84歳
「みんなのキズナ 保険料一定型葬儀保険」 あんしん少額短期保険 死亡すると葬儀のための費用として死亡保険金が支払われる保険。死亡した場合、年齢に応じた額が支払われる。 保険料：月々1000円から/保険期間：1年 契約年齢：40～84歳（99歳まで継続可能）
「ちょいのり保険」 東京海上日動火災保険 親、友人の車を運転する際の事故を補償する自動車保険。対人、対物賠償保険や搭乗者傷害特約など基本的な補償を用意している。 保険料：500円から/保険期間：24時間単位/契約年齢：18歳以上
「1DAY 保険」 三井住友海上火災保険 親、友人の車を運転する際の事故を補償する自動車保険。対人、対物賠償保険や搭乗者傷害特約など基本的な補償を用意している。 保険料：500円から/保険期間：24時間単位/記名被保険者の年齢：18歳以上
「チケットぴあ チケットガード」 AWPチケットガード少額短期保険 急な病気やケガ、交通機関の遅延、突然の出張などでイベントの観覧・参加などができなかった場合、チケット代金を補償する保険。 保険料：チケット代金の約1割。5000円のチケットなら560円 申込期間：チケット購入から120時間以内 契約年齢：年齢制限なし
「自転車向けほけん Bycle」 au 損保 自転車で事故を起こしたときの自身のケガ、相手のケガを補償する保険。自転車事故で死亡した場合最大500万円、入院した場合1日最大8000円が支払われる。 保険料：月々360円から/保険期間：1年・2年 補償の対象となる方の年齢：0～74歳

自転車保険もワンコイン
 自転車の保険に加入することを義務付けている自治体が増えた。
 保険料はチケット代金が5000円の場合、560円だ。

「自転車保険は必要」。そんな流れを強めたのは、13年に神戸地裁が出した民事訴訟の判決だ。当時、11歳の男児が自転車で行方不明、62歳の女性と正面衝突。女性には頭の骨などを折り、意識が戻らなくなった。同地裁は男児の母親に9521

万円の賠償金支払いを命じた。au 損保の「自転車向けほけん Bycle」は月360円からで、事故を起こしたとき、あるいは自分がケガをしたときに保険金が支払われる。事故を起こしたときの補償は契約によ

て異なるが、最大で3億円を補償する。示談代行サービスもある。「一つの契約で家族全員をまとめて補償する家族タイプもあり、好評です。また70歳以上でも加入できるコースも用意しています」（同社）

ワンコイン保険はまだある。たとえば、近年増えたペット保険も少額短期保険が認められたことで生まれものが多く、ワンコインでの契約も可能だ。ワンコイン保険で何ができるのか？ それを知っておいても損はないはずだ。

国内旅行もワンコイン保険

日本国内の登山・ハイキング人口は約1200万人。特に活動的なのは60代とされている（『レジャー白書2017』）。近場の低山でのハイキングでも、ケガなどのリスクが伴うもの。そんな国内旅行者向けな

「年に数回程度、レジャーに出かける方にぴったりの保険です」（同社）より身近なレジャーに合いそうなワンコイン保険が、三井住友海上火災保険の「1DAYレジャー保

険料は100万円コースの場合、50～54歳の女性

「ちょうど車に乗らないのに自動車保険に加入するのは割に合わないと考えている人もいるのではないかと。そんな人にぴったりなのが、時間限定の自動車保険。東京海上日動火災保険の「ちょいのり保険」なら24時間単位で加入できる。保険料は500円から。友人、

知人らに車を借りる際に契約すると、万一のときに備えられる。同様の保険は三井住友海上火災保険にもある。「1DAY保険」だ。こちらも24時間単位で契約でき、500円から入れる。「車を持たない若年者層が、親の車を運転する場合によくご利用いただけます」（同社）

士と連絡が取れ、必要であれば弁護士が現場にかけつけます」（同社）
 契約中に痴漢に間違えられることなく済んだら、保険料が惜しくなる気もするが、契約者は年3回まで弁護士に無料で法律相談できる。
 離婚問題、遺産相続問題など何でも尋ねられる。また、自分が事故を起こし、人や物品を傷つけて賠償責任を負ったときもカバーしてくれる。個人賠償責任保険金が支払われる。最高給付金は1000万円だ。

が、アウトドアスポーツ用品を扱うモンベルの国内旅行傷害保険「モンベル野あそび保険」。
 1泊2日の旅行なら保険料は250円から。ハイキングやキャンプなどのアウトドア活動中、ケガをしたり、死亡したり、他人にケガをさせてしまったりした場合、保険金が支払われる。2500円の契約の場合、ケガで入院すると1日3500円が180日まで支払われる。また、自分の過失による事故で賠償責任が生じた場合、最高1億円が支払われる。遭難した際の捜索救助費用も補償される。

料は500円から。ゴルフに対応したものと複数のタイプがあるが、レジャー全般のタイプで保険料1日5000円のもの。契約した場合、傷害死亡保険金は300万円。骨折時一時保険金は9万円、賠償の補償は最大1億円までしてくれる。

月490円だ。あんしん少額短期保険の「みんなのキズナ 保険料一定型葬儀保険」の保険料は月1000円から。ワンコインではないが、葬儀の生前予約もできる。保険金に応じ、自分の思い通りの葬儀が行える。「葬儀費用は弊社から葬儀社に保険金を使って直接支払われるので、ご家族がいない方でも安心してご利用いただけます」（同社）おひとりさまも入れる。

「たまたましか車に乗らない人に」
 ほとんど車に乗らないのに自動車保険に加入するのは割に合わないと考えている人もいるのではないかと。そんな人にぴったりなのが、時間限定の自動車保険。東京海上日動火災保険の「ちょいのり保険」なら24時間単位で加入できる。保険料は500円から。友人、

葬儀費用も保険でまかなう

葬儀費用は自分で準備したいと考えている人たちに人気なのが葬儀保険。亡くなるとコースに応じて100万円から600万円が支払われる。SBIいきいき少額短期保険の「死亡保険」は、葬儀保険とは銘打っていないが、「一番人気は100万円のコースで、お葬式代などにお金を残したい方が多いようです」（同社）。

たまたましか車に乗らない人に

このワンコイン保険も個性派。AWPチケットガード少額短期保険の「チケットぴあ チケットガード」は、病気やケガ、交通機関の遅延などでコンサートに行けなくなった場合、チケット代を補償してくれる。「海外大物アーティストのコンサートや、クラシックなどの高額チケットを購入された方にお勧めします」（同社）

チケット代金を補償